

景気観測調査モニター事業所
ご担当者各位

岡山商工会議所

令和5年10～12月期
景気観測調査の結果について（ご報告）

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
ご協力を頂いております標記調査について結果を取りまとめましたので、下記のとおり報告させていただきます。

記

1. 調査概要

- ・調査対象：県下商工会議所会員企業 586 社
- ・調査時期：12/1～12/15
- ・有効回答数：526 社（回収率 89.8%）

2. 令和4年10～12期「景況概要」

「仕入価格の上昇が経済活動本格化の足かせとなり、景況DIは2期連続で悪化」

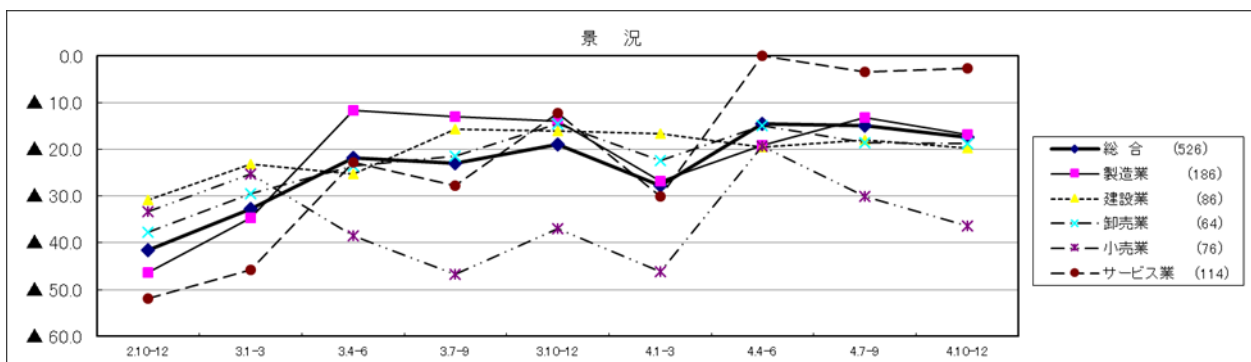
景況全体では、前年同期（令和3年10～12月）と比べて、「好転」から「悪化」を差し引いた総合DI値は▲17.3となり、前期に比べ2.3ポイント低下し、2期連続の悪化となった。

製造業については、「生産額・売上額」が3期連続で改善し、経済活動の再開の動きが続いているものの、価格転嫁の広がり十分ではなかったため収益の改善が遅れ、景況感を押し下げたものと見られる。サービス業については5つの業種のうちで唯一、景況DIが改善したが、そのうちの運輸・倉庫においては、価格転嫁が特に難しい実態を示している。仕入価格の上昇は4期続けて調査開始以来最悪を記録しており、企業収益への圧迫も長期化することが懸念される。

また、新型コロナ対応の無利子・無担保のいわゆる「ゼロゼロ融資」の返済が多く企業でまるとことなどから、地域経済の先行きは予断を許さないと考えている。

※DIは各調査項目について判断の状況を示す。ゼロを基準として、プラスの値は景気の上向き傾向（「良い」）の回答割合が多いことを示し、マイナスの値は景気の下向き傾向（「悪い」）の回答割合が多いことを示す。

DI = (増加・好転など「良い」の回答割合) - (減少・悪化など「悪い」の回答割合)



| 景況 | 2.10-12 | 3.1-3 | 3.4-6 | 3.7-9 | 3.10-12 | 4.1-3 | 4.4-6 | 4.7-9 | 4.10-12 | 今期-前期 |
|-------------|---------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|---------|-------|
| 総合 (526) | ▲ 41.6 | ▲ 32.6 | ▲ 21.8 | ▲ 22.9 | ▲ 19.0 | ▲ 27.7 | ▲ 14.5 | ▲ 15.0 | ▲ 17.3 | ▲ 2.3 |
| 製造業 (186) | ▲ 46.4 | ▲ 34.6 | ▲ 11.7 | ▲ 13.1 | ▲ 14.0 | ▲ 26.7 | ▲ 19.1 | ▲ 13.2 | ▲ 16.8 | ▲ 3.6 |
| 建設業 (86) | ▲ 30.8 | ▲ 23.1 | ▲ 25.3 | ▲ 15.7 | ▲ 16.1 | ▲ 16.7 | ▲ 19.5 | ▲ 18.0 | ▲ 19.8 | ▲ 1.8 |
| 卸売業 (64) | ▲ 37.7 | ▲ 29.4 | ▲ 23.5 | ▲ 21.4 | ▲ 14.5 | ▲ 22.4 | ▲ 14.9 | ▲ 18.5 | ▲ 18.8 | ▲ 0.3 |
| 小売業 (76) | ▲ 33.3 | ▲ 25.3 | ▲ 38.5 | ▲ 46.8 | ▲ 37.0 | ▲ 46.2 | ▲ 19.2 | ▲ 30.1 | ▲ 36.4 | ▲ 6.3 |
| サービス業 (114) | ▲ 51.9 | ▲ 45.7 | ▲ 22.7 | ▲ 27.8 | ▲ 12.3 | ▲ 30.1 | 0.0 | ▲ 3.5 | ▲ 2.6 | 0.9 |

3. 付帯調査：円安が経営に与える影響について

